

桜東畑遺跡



東上空から

桜東畑遺跡は福崎町高岡の桜区に所在する遺跡で、ほ場整備事業に伴って令和2・3年度に発掘調査を行いました。奈良時代の竪穴建物1棟、掘立柱建物7棟、焼塩遺構と思われる落ち込み1基、木棺墓1基、土器棺墓1基、柵2列などを調査しました。



福崎町全図



工房跡 (SX01) 焼土の状況



製塩土器

遺跡名	所在地	時期	型式
西治下代ノ下モ	西治	古墳中期	丸底Ⅰ
桜東畑	高岡	奈良	丸底Ⅲ
桜	高岡	奈良	丸底Ⅲ
林谷	高岡	奈良	丸底Ⅲ
狐塚	高岡	奈良	丸底Ⅲ
観音堂	高岡	奈良	丸底Ⅲ
神谷ヤブノハナ	高岡	奈良	丸底Ⅲ
長野諏訪神社周辺遺跡	高岡	奈良	丸底Ⅲ
前田	高岡	奈良	丸底Ⅲ
宮ノ前	高岡・福田	奈良	丸底Ⅲ
南田原条里	南田原	奈良	丸底Ⅲ
上坂	西田原	奈良	丸底Ⅲ

福崎町製塩土器出土遺跡一覧



工房跡 (SH01) 出土土器



工房跡 (SX01) 出土土器



土器棺



展示風景



現地説明会



ふくさき再発見シリーズ④

桜東畑遺跡

編集発行：福崎町教育委員会

〒679-2280 兵庫県神崎郡福崎町南田原 3116-1

TEL：0790-22-0560

E-Mail：syakai@town.fukusaki.lg.jp



掘立柱建物

今回調査した遺構は竪穴建物が古く工房跡から掘立柱建物を中心とする遺跡に変化したようです。主軸方向などから4期に分けることが可能です。柱穴もやや大きく整然と並んでいることが特徴です。遺物は須恵器・土師器とともに製塩土器が多く出土しています。製塩土器には内面に布痕が残るものもあります。



SB01 (南から)



SB02 (北から)

建物番号	棟向	間数	間幅	間長	方位
SB01	南北棟	2間	4.0m	3間(6.3m)	N25° W
SB02	南北棟	2間	4.8m	3間(7.8m)	N10° W
SB03	南北棟	2間	6.0m	5間(9.8m)	N15° W
SB04	南北棟	2間	5.0m	3間(8.2m)	N15° W
SB05	東西棟	2間	4.2m	5間(9.0m)	N0° W
SB06	南北棟	4間	6.8m	3間(10.2m)	N0° W
SB07	南北棟	3間	5.1m	3間(6.6m)	N45° W

掘立柱建物一覧



SB03 (南から)



SB03 と SB04 (南から)



SB04 ~ SB07 (南から)



SB04 ~ SB06・SX01 (北から)



工房跡

竪穴建物・落ち込みとともに厚い焼土・炭を多く伴い工房跡で、焼塩遺構であろうと思われます。工房跡 SX01 と掘立柱建物 SB06 は同時併存の可能性があります。屋内の焼塩遺構の可能性を考えています。伊勢神宮をはじめ屋内炉は多く確認されています。



SH01



SX01



土器棺墓

桜東畑遺跡では遺跡の南北を旧河道があり長さが50mとわかったのも成果です。遺跡の南北端に墓がありました。北側は木棺墓、南側は土器棺墓です。土器棺墓は奈良時代の長胴甕を横位置に合わせ口にしてあります。県下でも8例ほどしかなく、播磨では初めての調査例です。木棺墓は焼土を伴っていますが棺痕跡を確認し、土葬と思われます。

木棺墓



土器棺出土状態



土器棺出土状態



発掘作業風景



1次調査垂直写真



木棺墓

時代は江戸時代と新しくなりますが「姫路納」と書かれた木簡も出土しました。



木簡出土痕跡



2次調査全景 (南から)



1次調査全景 (南から)

